

福祉公社通信



12月号

発行日

平成30年12月10日

【第69号(月刊)】

福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和55年に設立した在宅サービス提供機関です。

誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

朝霜に寒気満ちる師走となりました。

自然も人の営みも、一層、冬めいて季節は巡ります。

11月初旬の立冬を過ぎ、晴天の暖かい日が小春日和、

しかし、これからは冬日和の日々です。

この一年を回顧し、来たる年に想いを馳せる時です。

皆様にはお健やかに過ごしてください。



<紙面から>

武蔵野市地域包括ケア人材育成センター 開設 …1ページ

補助器具センター 住まいと排泄に関する講演会

むさしの青空市 ……2ページ

コミュニティカフェ 第24回地域健康クラブ交歓会 …3ページ

お知らせ リレーコラム ……4ページ

武蔵野市地域包括ケア人材育成センター 開設

～ あなたの手を市民の支えに ～

市は、誰もが住み慣れた地域で生涯暮らし続けられるよう、まちぐるみの支え合い・地域包括ケアを推進しています。このために保健・医療・福祉等の多職種連携や市民同士の支え合いが重要ですが、最大の課題は福祉人材の養成・育成です。団塊世代が後期高齢者となる2025年問題に対応するため、市における介護サービスの担い手は現在の1.31倍必要といわれています。

この度、福祉公社は「地域包括ケア人材育成センター」を市から受託し開設しました。主な業務は介護の資格取得支援、福祉従事者に対する研修・相談、情報提供、福祉事業所や団体の支援です。これらを通じて様々な課題に取り組み、まちぐるみの支え合いの実現に尽力いたします。



活かす 人材養成事業 <介護職員初任者研修、認定ヘルパー養成研修>ほか
福祉(介護)の仕事に就きたい方を支援します。

育てる 研修・相談事業 <技術研修、介護に従事する上での悩み事の相談受付>
福祉従事者のケアスキルの向上を図り、悩み事のご相談を承ります。

つなぐ 就職支援事業 <お仕事フェア、就職相談会>
介護などの福祉職場への就職を支援します。

支える 事業者・団体支援事業
<管理者、経営者向けの研修・求人情報PRのサポート>
福祉に関わる事業所や団体を支援します。

<お問い合わせ>

地域包括ケア人材育成センター ☎ 20-3741 (みなよい)

(吉祥寺北町1-9-1 福祉公社本部事務所内)

ホームページをご覧ください。 <http://www.m-machigurumi.jp/>



補助器具センター 住まいと排泄に関する講演会

市の調査によれば、在宅介護の不安の第一に排泄のトラブルがあげられます。

また喫緊の課題である福祉人材の不足を補うために、ケアに頼らず一定程度の自立した生活を可能にする住宅改修は重要です。この両者の相談支援を担当するのが補助器具センターです。

10月19日に市民啓発の講演会を開催しました。講師は補助器具センターの牧野美奈子排泄ケア専門員と首都大学の橋本美芽准教授です。

牧野専門員は「あきらめないで！排泄トラブルへの対応」と題し、詳細な自作のレジメを基に講演しました。失禁、頻尿等の症状、骨盤底筋体操、排尿日誌など基礎知識や対処方法が懇切丁寧に説明されました。

橋本准教授は住宅改修の実例や国際福祉機器展の副読本を用いて、改修の要点を的確に説明しました。改修に際し、事業者任せにしないで自分自身が主体的に取り組むための参考になりました。



豊富な実務経験に裏打ちされた講演は参加者の共感を呼び、「非常に具体的で分かりやすかった。講師の話し方に優しさがあふれ信頼が持てる」「現実に迫っている問題のため参考になった」「資料が見やすく分かりやすい」など高評価を頂戴しました。



補助器具センターは平成5年に、全国初のユニークな機関として発足しましたが、来年度は現行のサービス内容に即した改称と機能の拡大が予定されています。

福祉公社は今後も同センターの運営を通して、より良い在宅福祉サービスの提供に力を注いでまいります。



むさしの青空市 初出店 介護食は意外においしい

秋晴れ、お祭り日和の11月11日、むさしの青空市に初出店しました。介護食の試食、老いじたく相談、スーパーボールすくい・輪投げをご用意し、市民の皆様をお迎えしました。

延べ565名の方がお立ち寄りくださり、お蔭様で大盛況。

試食をされた方々からは、「介護食というとまずいイメージだが、味がしっかりとついていて意外にも美味しい」「今の介護について知ることができた」などのご感想をいただきました。

多くの市民の皆様は福祉公社を知って頂くきっかけとなりました。今後も公社事業をPRし、市民福祉の向上に努めてまいります。



コミュニティカフェ 軒下フェスタと同時開催

10月27日、地域福祉活動を広報し、まちぐるみの支え合いを推進するため、今年で5回目となるコミュニティカフェを開催しました。

大野田、中央、西久保各福祉の会、千川地域福祉活動推進協議会、NPO法人ペピータ、緑町きらきらプロジェクト、珈琲家香七絵、社会福祉法人武蔵野等関係各位のご協力・協働で開催することができました。誠にありがとうございました。

今回は、地域団体の集まりである緑町懇話会30周年をお祝いし、拡大軒下フェスタと同時開催しました。グリーンパーク商店街から高齢者総合センターを挟んで緑町一番街まで続く、これまでにない規模のイベントでした。

晴天で汗ばむほどの日差しの中、多くの市民で賑わいました。オープンカフェの美味しいコーヒーを手に、各団体の活動紹介パネルに見入る方、権利擁護センターの老いじたく相談のご利用者、ミニゲームに興じる親子連れ、折り紙講座でハロウィンに因んだ作品に取り組む子どもなど、そこかしこで世代を超えた市民の交流が生まれ、幅広い世代が憩いのひと時を過ごされていました。

これからも高齢者総合センターが地域に開かれた福祉の拠点として、「まちぐるみの支え合い」の一助となるよう努めます。



第24回 地域健康クラブ交歓会 健康長寿の躍動

10月31日、総合体育館メインアリーナで交歓会が開催されました。心身ともなる健康長寿に精力的に取り組まれている523名が参加されました。これは受講者の約半数強です。

開会式では松下玲子市長、萱場和裕福祉公社理事長、深田榮一コミュニティ研究連絡会会長が、それぞれお心のこもったエールを受講者の皆様に送りました。

これを受け選手代表の浦畑豊司氏が「日頃の運動の成果を発揮しますと」力強く宣誓、選手は7チームに分かれ、体力、年齢にかかわらず全員参加で、楽しく交歓しながら優勝を目指します。また、成蹊大教職課程の学生54名が参加し、チームリーダーを務めながら、会の運営を支えてくれます。



白熱した競技展開、チーム一丸の応援、皆が心ひとつに、世代を超えて交流が深まります。

毎年恒例の交歓会ですが、実習学生の関係で今回を以て一旦お休みとなります。

そこで特別企画としてヘルシーライフプロジェクトのインストラクターと学生によるダンスが披露されました。このひと時を共有できた喜びをダンスにより表現し、選手の皆様は満面の笑顔で手拍子をとります。

大盛況の交歓会はピンクチームの優勝で幕を降ろしました。おめでとうございます。

地域健康クラブは受講者をはじめ関係者全員にとって、心安らかな帰属の場です。

福祉公社は今後ともこの良き伝統を維持継続いたします。





会社からのお知らせ

老いじたく講座 ～ 老いじたくの基礎知識 ～

誰にでも訪れる老いに備え、元気なうちから準備して、尊厳ある老後生活を築きましょう。

日時 12月25日(火)13時30分から15時
場所 市民会館 第2学習室



～ エンディングノート 書き方講座 ～

想いを記すことは残された人たちへの指針

日時 1月15日(火)10時30分から12時
場所 福祉公社 1階会議室



問合せ 在宅サービス課 権利擁護センター
申込 ☎ 23-1165 参加費用は無料です。

ご寄附を有難く拝受しました

遠藤登美 様 (遺贈) 1,000,000 円

技術研修のお知らせ

訪問介護事業者を対象に、武蔵野市理学・作業・言語聴覚療法士協議会の協力で実施します。皆様、ふるってご参加ください。

日時 12月20日(木)

18時30分から20時30分

内容 生活に関わる移動の講義・実技

場所 武蔵野赤十字病院 リハビリ科PT室

問合せ 地域包括ケア人材育成センター

☎ 20-3741

職員リレーコラム



「坐禅」 高齢者総合センターデイサービス 本橋 久美子

鎌倉の建長寺で坐禅体験をしてきました。始まる30分位前に会場に入ると、すでに坐禅を組んでいる人も居て、私も『坐禅の手引き』を手に、見様見真似で坐蒲を敷き準備しました。そこに、和尚様が入ってきて『坐相』と呼吸の仕方、警策(肩を叩く棒のこと)の受け方の説明をさせていただきます。警策は自ら手を合わせて合掌して叩かれることを初めて知りました。

鐘と拍子木が鳴り坐禅が始まります。静まり返った会場の中で警策を受ける音が聞こえてきて集中できません。私も合掌し頭を下げ警策を受けました。思っていた以上に大きな音でしたが、痛みはなく気持ちが引き締まり、そのあとは不思議と呼吸も姿勢も整って集中することができました。坐禅のあとは和尚様の周りに集まり法話を聞きます。初めての坐禅体験、終わった後はとても清々しい気持ちになりました。また、鎌倉へ坐禅をしに行こうと思います。

⇒ 次回は 北町高齢者センター 相笠 明美

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

次号は平成31年1月10日発行予定です



武蔵野市福祉公社

武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車 ☎0422-23-1165

(総務課 権利擁護センター ケアプランセンター)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

☎0422-20-3741 (地域包括ケア人材育成センター)

武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1 バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護・地域包括支援センター

・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

バス停「北町四丁目」から徒歩三分

☎0422-54-5300

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikoshi.jp/>